※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　（実教出版）						
副教材等	クローズアップ公共 2024（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書・資料集を用いて学習をすすめます。
・正解が一つに定まらない現実社会に見られる複雑な課題を、社会学的なものの見方考え方から把握し、理解を深めていきましょう。
・自らの考えを表現して他者に伝え、意見を取りまとめて合意を形成していくために、プレゼンテーションなども授業に取り入れる予定です。積極的に会話していきましょう。

2　学習の到達目標

・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。
・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。
・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し説明するとともに、身につけた判断基 準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に 判断して、合意形成や社会参画に向かっている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、そ の平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代日本の政治・経済	現代国家と民主政治	a:・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について、民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。 b:・基本的人権や法の支配の重要性について、歴史的背景にも言及しながら考察し、それらを適切に表現している。 ・各国の政治制度の共通点・相違点について、立法府と行政府に着目しながら比較・考察し、適切に表現している。 c:・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 授業観察	定期考査 小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察
		日本国憲法と基本的人権	a:・日本国憲法の成立過程を理解している。 ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 b:・自由権、平等権、社会権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 ・日本の憲法改正手続きについて、p.21 の Q&A も踏まえながら、その運用上の課題について協働的に考察し、適切に表現している。 c:・ 憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。 ・公共の福祉について主体的に追究することを通して、個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 授業観察	定期考査 小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

前期	現代日本の政治	日本の政治制度と政治参加	a:・国会の役割や権限、運営について理解している。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。 b:・裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し、適切に表現している。 ・p.40-41 の本文理解を踏まえたうえで、「国会はなぜ国権の最高機関とされるのか」といった議題について考え、適切に表現している。 c:・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト 単元テスト 授業観察	小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察
	現代日本の経済	現代の経済社会	a:・需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 b:・市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:・市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト 単元テスト 授業観察	小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察
後期		現代の日本経済と福祉の向上	a:・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。 ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 b: 消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し、消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 ・社会保障のあり方について、税金中心のしくみと社会保険中心のしくみでどのような違いがあるか協働的に考察し、それらを適切に表現している。 c:・安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して、社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト 単元テスト 授業観察	小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

後期	現代日本の経済	現代日本における諸課題の探究	a:・各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につけている。 b:・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 c:・よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 授業観察	定期考査 小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察
	現代の国際政治	国際政治の動向と課題	a: ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 授業観察	定期考査 小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察
	現代の国際経済	国際経済理論	a:・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。 b: ・日本経済にとって、円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて、協働的に考察し、それらを適切に表現している。 c:・円高や円安が輸出・輸入価格に影響することを踏まえて、円相場の変動にあわせて輸入品や外国株式の購入時期を検討しようとするなど、社会生活に生かそうとしている。	小テスト 単元テスト 授業観察	小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

後期	現代の国際経済	国際経済の動向と課題	a:・グローバル化した世界において、多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。 ・パリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 b:・グローバリゼーションがもたらすメリットとデメリットにはどのようなものがあるか、多面的に考察している。 ・調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら、日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し、適切に表現している。 c:・よりよい社会の実現を視野に、グローバリゼーションと共生の課題について学習したことを、自らの生活圏内に生きる外国人労働者に対するまなざしの中で生かそうとしている。 ・地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで、脱炭素社会の形成について興味関心をもち、「地球環境問題、資源エネルギー問題（p.158-159）」を探究するための意欲を高めている。	小テスト 単元テスト 授業観察	小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察
	国際社会における諸課題の探究	国際社会における諸課題の探究	a:・ 各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身につけた選択・判断の手掛かりとなる考え方、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解している。 b: 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 c: よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	小テスト 単元テスト 授業観察	小テスト レポート 単元テスト 授業観察	振り返りシート 学習課題 ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度